

7

広島少年合唱隊

'66

第7回 定期演奏会

広島少年合唱隊

と き 昭和41年11月3日<文化の日>午後1時
と ころ 広島市公会堂
主 催 広島少年合唱教室後援会

後 援 広島市教育委員会
広島市小学校音楽研究会
中国新聞社
NHK広島中央放送局
ラジオ中国
広島テレビ





● ごあいさつ

皆さま、本日はようこそおいでくださいました。

本合唱隊は、発足以来順調な発展をたどり、ことしは第7回の定期演奏会を開くところまでまいりました。

ひるがえってみますと、本合唱隊の今日あるのは、常々献身のご努力をいただいている指導の先生がたと、直接間接に暖かいご支援を賜わっている関係ご当局、あるいは、一般市民の皆さまがたのおかげと存じ、心から感謝のまことを捧げるものであります。

子どもたちも、暑さにも寒さにもめげず、熱心なレッスンを重ねており、音楽のキビシサとオモシロサ、三瓶合宿などを通じて団体生活のトウトサとタノシサを身をもって体験しております。それらの生活を通じて得たものを皆さまの前にご披露できることはこの上ない光栄であり、その感激は、子どもたちの一生を通じて忘れることのできない思い出と

なることを信じて疑いません。

今回も、宗教音楽・フランス民謡・日本の名曲等の合唱のほか、広島に古くから伝わる民謡「おさんぎつね」から取材した「昔、狐が化けたげな」の創作オペレッタの発表をいたします。合唱で広いレパートリーをもたせること、郷土のオペレッタを創作し保存していくことは、本合唱隊の特長とするところであります。

技術的には、未熟な点が多々あることと思いますが、幸い、皆さまがたのご指導により、さらにさらに努力を重ねていく心算でございます。

清純・希望・平和の理想に向かって、一步一步近づけるよう、格別のご支援を心からお願ひ申します。

広島少年合唱教室後援会長 大石 行 円

お祝いのことば



広島市長

浜井信三

広島少年合唱隊の第7回定期演奏会が、菜花華る文化の日に開かれますことを、心からお喜び申し上げます。

昭和35年に、この合唱隊が結成されて以来、毎回その内容も充実し、レパートリーも広がる一方、市民に親しみ深い合唱隊のひとつとして活動してこられたのでありますが、今日の発展をみるにいたりましたことは、ひとえに優れた指導者を中心とする隊員各位の不断の努力のためものでありまして、心から敬服している所でありたいです。

特にこしは、7周年記念として、市内江波町に伝わる民話「おさんぎつね」に取材した、創作オペレッタ「昔狐は化けたげな」として、合唱隊員皆さんの平素の努力の成果を、市民の皆さんに披露されますことは、合唱隊の歴史の上にも、誠に意義深いものがあると思じます。

願わくば、これを機会にいろいろな面に脱皮と改善を加えられ、ユニークな合唱隊として、また、本市の誇り得る合唱団として、当地方の音楽の向上のために、いっそうの精進を続けられますよう念願する所でありたいです。

みなさん、おめでとう。

ことしもまた楽しいみなさんの発表会を迎えることができ、ほんとうにうれしいことだと思います。

広島に播かれた小さな「少年合唱隊」の種は、芽をふき、葉を出し、今やりっばな一本の木として大地にしっかりと根をおろしました。

こしは発表会も、その第7回目を迎え年輪をまたひとつ重ねます。ここまで育てられた先生がたや、ご父兄のかたがたの丹精のかけのご苦労や、先輩やみなさんのたゆまぬ努力は、なみたいていのことではなかったと思います。

1年1年、年輪を重ね、やがて見上げるような大木に成長するであろうこの会の発展を、わたしたち市民は、心から祈り、楽しく見守っています。

きょうも1年間いっしょうけんめい勉強した、みなさんの清らかな歌声がこの広い堂一ぱい、いや広島の間一ぱい響き渡って皆を楽しませてくれることでしょう。

明るいステージで力一ぱい歌う紅潮した少年たちの顔は、晴れ渡った秋空に咲き誇る菊の花のように美しく、清らかに輝きます。

この会を常に理解と愛情を持って応援して下さるご参集の皆さま、わたしたちはいつまでも変わらぬ愛情で、この会の発展を祈り育てようではありませんか。それはひとりこの会のためばかりでなく、平和を世界のだれよりも祈念する広島のためにも。

今宵この数時間をかれらの汚れなき歌声によって、清められたおとなたちの心を、そのままあすの生活に生かして、平和な美しい社会の建設に努めたいものです。

この会の成功と発展を祈って、お祝いのことばといたします。



広島市教育長

盛岡幹造

とぎすまされた
伝統の味!



中国醸造

顧問 エリザベト音楽大学教授 太田 司 朗

創立以来、満7年を数え、そしてきょう第7回定期演奏会を開かれることを、心からおよろこび申し上げます。

先日、広島少年合唱隊が吹込んだ合唱組曲「ひろしま」を聞く機会がありました。よくここまで成長したものだとの感を深くしました。細かい技術的な問題はまだまだありますが、少年のみの合唱団として、数多くの問題をのりこえた、隊員の人たちの努力、指導にあたった先生がたの熱意に対して、深甚の敬意を表し、讃辞を贈りたいと思います。

本日も、少年合唱のみが持つ合唱の美しさを、存分に聞かせてくれることと思います。

盛会でありますようお祈りするとともに、1年1年着実な歩みを続け、音楽性の向上をめざして、ますます発展されるよう望みます。

顧問 広島県教育委員会指導主事 梶山 逸 夫

意義深い文化の日に、第7回定期演奏会が開かれることを心からおよろこび申し上げます。

たえず音楽の美しさを求め続けたみなさんの情熱、練習のきびしさを強い意志でのりこえてきたみなさんの努力、それに先生がたの熱意にあふれたご指導がみごとなハーモニーをかもして、今日のこの公演を迎えることができたのだと思います。

父兄や広島市民のかたがたはもちろん、関心の深い県下の多くのひとびとは、みなさんの生き生きとした清純な歌声に拍手を送りつけてきました。

このたびは、「おさんぎつね」を主題としたオペレッタも上演されるそうですが、これにもまた新鮮な期待を感じます。

平素の力をじゅうぶん発揮していただき、感動のあふれた、すばらしい演奏会になることを願っています。

この公演のご成功と、あわせてこれを契機として、今後ますます発展されることをお祈りいたします。

皆様の電化センター



広島市紙屋町バスセンター前
電話(代表)47-9111番

ビクター少年合唱隊指揮 堤 温
作陽学園大学 教授

文化の佳き日に、第7回の定期演奏会を迎えられる、広島少年合唱隊のすがたは、輝かしくすばらしいとおもいます。

平和の鐘のなりやまない、広島のみなさまから愛される合唱隊としてだけでなく、その名は中央にもきこえてまいりました。

とくに、毎年かならずといってよいほど、創作オペレッタをとりあげておられる意欲とその成果は、広く注目されています。また全国の合唱隊の中でも、隊員数をもっとも多いのにもかかわらず、教育訓練上のまとまりのあることで有名であります。

少年たちの変声や進学、それに中学生になると辞めてゆく傾向などの問題は少年合唱隊の宿命でもあります。中学生になっても変声があるまでは、訓練するきびしさと演奏するよろこびをもって、続けていただきたいと思います。願わくは中学生の多い合唱隊の定期演奏会にしてください。ご成功を心から祈ってやみません。

広島県合唱連盟理事長 升 田 徳 一

第7回の発表会です。おめでとうございます。古くから『石の上にも3年』といわれておりますが、苦しかったその3年の倍も過ぎた第7回の発表会ですから、そのできの良いは当然です。

その上、今回は宗教曲から近代までと、幅広いレパートリーに加えて例年のように創作オペレッタもあるし、(郷土の民話を取材したものを毎年必ず発表される意欲はまことに敬服のいたりです。)非常に変化のあるプログラムは楽しいものと思います。

そして、これだけの曲目の練習はたいへんな苦勞がいろいろあります。それをいっしょうけんめい練習した、180人の皆さんのがんばり、指導して下さった先生がたの努力に深く敬意を表しますとともに、次の3年、7年とますます発展されることを祈ります。

椿 田 齒 科

院長 椿 田 忠 之

広島市富士見町16-16 電話41-2653
(東保健所前)

がん・クリニック

伊藤胃腸科病院

院長 伊藤剛二 広島市皆実町3丁目(市電大付高前)
電話 51-0633・53-1867番

第7回 定期演奏会にあたって

広島少年合唱教室運営委員長 升 島 豊

わたくしたちの広島少年合唱隊は、昭和35年7月に組織され、翌年本市で開かれた全国小学校音楽教育研究大会で全国でも数少ない、少年合唱隊として認められました。その後、関係者のみなみならぬ努力と協力とによって、遂年成果をあげ、今回は第7回の定期演奏会を開くにいたしました。純粋に少年のみの合唱隊が減る傾向をみせているとき、この広島少年合唱隊の存在は全国的にも稀有のもので、指導者は隊長以下12名、隊員172名、合唱隊OB76名を擁するにいたり、毎土曜日練習を続けています。小学校3年で入隊し、変声するとOB隊員となるために次々と隊員はかわりますが、指導者の熱意と後援会の協力、また市民各位の援助をいただき、質的にますます伸びてきたことは、まことに喜ばしいことに思います。特に後援会の皆さんのひたむきな暖かい援助には、ただただ感謝のほかはありません。こうした背景のもとに、毎年8月6日の平和祭や、1月15日の成人式に定期的に演奏し、市民の皆さんに親しまれてまいりました。

しかし、この合唱隊にもいくつかの悩みがあります。レッスン場の問題、指導者の研修の問題、OBの育成の問題等々、将来はなんとかならないものかと考えます。わたしどもは、広島少年合唱隊をさらに充実させ、積極的な後援会の協力と相俟って、ますますレベルアップし、子どもたちの音楽性を深め、よりよい人間の育成に努めたいと念願いたします。

ここに第7回定期演奏会を開くにあたりまして、ご協力いただきます各関係団体をはじめ、市民の皆様のご援助に深甚の謝意を表するとともに将来ともよろしくご協力をたまわりますようお願いいたします。

広島少年合唱隊隊長 樋口正司

広島少年合唱隊もようやく7才になりました。

男の子ばかりの美しい合唱を育てたい。その活動をとおして、清らかで明るく、そして、たくましい子どもを育てたい。という夢をひたすらに追ってきた7年間です。

幸いにも、各方面からのお励ましや、市民のかたがたの愛情にみちたご支援により、順調に発展しておりますことは、わたしどもにとりまして、大きな心のささえとなっており、ただ、感謝のほかございません。

今回演奏する内容は、学年に応じ、また曲の形に応じて、むりのないよう、しかも幅広く取り上げてみました。

入門期における合唱の導入としての「子どもの歌」を予科が歌い、その進んだ段階として、「フランス民謡」を集めて本科C組が歌います。

このように一地方の民謡を集めてステージに上げるのは最初の試みです。

5年生6年生で組織している、本科A・Bの組は、それぞれ、「宗教音楽」と、「楽しいおどりの音楽」とを歌います。例年とりあげている宗教音楽では、単純な古い形の中に表わされている音楽美をとらえさせることを主目的とし、少年合唱隊のひとつの特長ともなっています。

またA・B組の隊員たちによって、レパートリーの中から数曲を歌います。このステージは、日本の曲を集め、少年合唱のもつ美しさを最高に発揮すべく努力しました。

更にわが合唱隊の特長として高く評価されているのは、創作オペレッタではないかと思えます。ことしも、広島に依わる「おさん狐」をテーマに楽しいステージを用意しました。

ともかく、隊員たちの努力と指導者の熱意で、最高のものとするべくがんばってはきましたが、まだまだ未熟の点も多く、お聞きづらいこともあるかと存じます。さらに大きく飛躍するためにも、暖かいご指導をくださることを心からお願い申し上げます。

薬の御相談は

第一薬局

広島バスセンター前 電話47-6331番

疲労・神経痛

ハイベストン

MSC

ハイベストン

プログラム

1. 宗教音楽

- キリエ
- 陰府の門は
- 父が子を憐むごと

グレゴリオ聖歌
バレストリーナ作曲
津川圭一訳詞
ケルビーニ作曲
津川圭一訳詞

本科 B 組

指揮 岩藤 満

2. フランスのうた

- 王の行進
- 牧場の娘
- きいてよかあさん
- 橋の上で

フランス民謡
門馬直衛訳詞
フランス民謡
門馬直衛訳詞
フランス民謡
門馬直衛訳詞
フランス民謡
門馬直衛訳詞

本科 C 組

指揮 永柴良暁
編曲 山本富美子
伴奏

3. たのしいうた

- 粉雪ポルカ
- おどろう楽しいポーレチケ
- あんねんポルカ

ポーランド民謡
峰陽作詞
ポーランド民謡
永柴良暁編曲
きたひろし作詞
ヨハン・シュトラウス作曲
服部公一編曲

本科 A 組

指揮 森川明水
伴奏 記録康子

4. 子どものうた

- 汽車ポッポ
- かっこう
- あんたがたどこさ
- 子もりうた
- 歌はぼくらのお友だち

本居長世作詞・作曲
長谷川新一編曲
スロバキヤ民謡
牛山充作詞
わらべうた
中島秀信編曲
野上彰作詞
団伊久磨作曲
岡本敏明作詞
小林福子作曲

予 科

指揮 清水源康
伴奏 渡辺富美

5. レパートリーから

◦夏の思い出

江間章子 作詞
中田喜直 作曲

木 科 A・B

◦どじょっこ ふなっこ

東北地方方言による
岡本敏明 作曲

指揮 應下昭一
伴奏 川島敏子

◦金比羅船々

日 本 民 謡
平井康三郎 編曲

◦川

千家元磨 作詞
橋本國彦 作曲

< 休 憩 >

6. オベレッタ

昔狐は化けたげな

野口 潔 作 曲
永柴良暁 作 曲

木 科 A・B

演出 辻 敏
伴奏 福井幸子
舞台 広島舞台美術
照明 篠本秀吉

7. 合唱組曲

「ひろしま」

広島少年合唱隊 制作

木 科 合 同

I 清 純

II 希 望

III 平 和

指揮 樋口正司
伴奏 福井幸子